MY通信

2012年 11月号 No.007

今月の特集

日本の領土問題を切る

今月のミニコラム

色のいろは：色の見え方の不思議　～土の色～
より美しくあれ！：健康的なダイエット
ライダーのつぶやき：バイクと免許

社長の一言

代表社員　柳　雅弘

皆さま、こんにちは。MY ソリューション合同会社の代表社員、柳雅弘です。 さて、私は経営コンサルタントなので、数十億円を稼ぎ出す経営者へ様々な助言を行っています。散乱した事実の整理から課題を特定し、具体的な改善策の提示を行いますが、現場任せでは実行力に乏しい場合が有ります。

時には、営業の現場や会議自体を統制する役割を担いながら、率先垂範で自らの背中を見せることによって、改革への本気度を関係者へ知らしめます。他者へ気付きを提供するには、文章、言葉、雰囲気、行動等、様々な方法を組み合わせて示しますが、行動で見せることが最強の方法論なのでしょう。

とはいえ、こと自分の経営になると、まるでダメ男に変身してしまう時が有ります。「顧客層、サービス、地域は絞り込んで少ない資源を集中させるものですよ！」なんて顧問先に言いながらも、手広く事業を展開している自分が居たりします。そんな時は、嫁から有難い言葉を頂戴します。「そもそも、貴方がやりたかったことなん！？」

嫁自身が考えるアイデアは貧弱ですが、私のことを判断する際の説得力は素晴らしいです。第 2 期の弊社は、引き続き嫁のスーパーコンサルタントぶりに助けられるのでしょうか。（謀）

MYソリューション合同会社
〒651-1513　兵庫県神戸市北区鹿の子台北町 1-8-1
TEL　078-951-7115　FAX　078-951-7115
ＵＲＬ：http://www.mysolution.jp/

ビジネスニュースレターのバックナンバーが、
以下サイトで購入が出来るようになりました。
匠書房 http://takumi-shobo.wook.jp/

中小企業診断士　冨松　誠　～　譲れないモノについては毅然とした対応で臨むべき

唐突ですが、古代中国のお話をします。

匈奴に冒頓という長がいた。ある日、隣国の王が使者を寄こし、「お前の持っている名馬をよこせ」と要求してきた。家来達は怒り心頭だったが、冒頓は名馬を使者に引き渡した。

しばらくすると、また隣国の王から使者がやってきて「后を一人よこせ」と言ってくる。家来達は「追い返しましょう！」と進言したが、冒頓は「女一人で友好が保てるなら安いものだ」と后を使者に引き渡した。

その後、次に隣国の王が求めてきたのは国境の土地であった。冒頓の領土と隣国の領土の間に、不毛の荒地があり、これが国境になっていた。冒頓は使者に対し「馬や人ならお持ち帰りいただくが、土地はそうもいかない。家来と相談して後日返礼の使者を送ります」と返答した。

使者が帰った後、冒頓は家来達から意見を募った。家来達は「無礼な奴だ！断るべきだ！」という意見と、「あの土地は役に立たないのでくれてやれ」という意見に分かれた。これを聞いた冒頓は「土地は国の根本だ！　土地なくして領土が存在するか！」と怒声を上げ、隣国へ攻め入り滅ぼしてしまった。

ここで学ぶべきは「譲れないモノ」を認識していることの重要性です。外交でも取引でも柔軟な対応が大切ですが、何もかも向こうの言い分を聞いていては「弱腰外交」として舐められてしまいます。自国にとって、自社にとって「これは譲れない」という基準を持ち、毅然とした対応をすることが必要でしょう。ただし、何もかも「譲れない」では小さな子供と同じです。「譲れないモノ」は国や会社あるいは個人の根幹を成すものに限定されるべきでしょう。

今月の特集

マルチコラム

～ 日本の領土問題を切る ～

今月のテーマは何かと話題になる領土問題です

税理士　岡田　能竜　～　尖閣諸島に係る税金

石原都知事が東京都で購入すると表明し話題になった尖閣諸島。結局、国が 20 億 5 千万円で購入することになりました。その裏には、対中国強硬路線を採る石原都知事にこれ以上日中関係を荒らされたくない、という国家の思惑があったようです。

ところで、今回の尖閣諸島の売買の課税関係はどうなるのでしょうか？国が不動産を収用する場合は、譲渡所得の金額から 5000 万円を控除することができます。しかし、今回は収用でなく通常の売買と思われるので、この特別控除は使えないでしょう。

尖閣諸島所有者（個人）がその取得に要した費用（取得費）は 4000 万円と言われています。ただし、本件においては概算取得費控除により取得費を譲渡価額の 5%（20 億 5000 万×5%＝1 億 250 万）とする方が有利なのでそちらを採用すると、（売価 20 億 5000 万－取得費 1 億 250 万）×20%（国税・地方税）＝3 億 8950 万を納税することとなります。

つまり、国（及び地方）は 16 億 6050 万円で尖閣諸島を購入するのと同じことになります。これに対して、所有者は国への譲渡を拒否すると非国民的な扱いをされる可能性があるので、その譲渡は半強制的であり実質的に収用と同じである！にもかかわらず、5000 万円の特別控除が使えないことに不満を感じるでしょう。

本件譲渡価額が 20 億 5000 万円という中途半端な金額となったのは、収用の 5000 万円特別控除は使えないけれど同額を購入額に上乗せする、ということで国と所有者との間で話がついたのかもしれませんね。

社会保険労務士　金井　ちあき　～　日本を守る人々

人気映画「海猿」シリーズや、国有化した尖閣諸島周辺のパトロール活動が注目されていることなどから、海上保安庁職員を目指す若者が急増しているらしい。今年秋の海上保安学校の入学試験は申込者が前年の約2．5倍に膨れ上がった。京都府舞鶴市に本校がある海保学校は、主に高校卒業者が入学対象で、試験は秋と春の2回実施。秋試験に限ると、11年度の3064人から7708人に増加した。来年の春には約38倍の難関をくぐり抜けた約200人が海保学校に入学する。

学生生活は全寮制で、入学と同時に国家公務員として採用され、毎月約14万の給与が支給されるほか、6・12月にはボーナスが支給される。共済制度に加入するので医療制度、年金制度の保障が受けられる。

18歳から年金の保険料をかけるわけだから、定年まで勤めたら加入期間42年以上。（当然もらえる年金も多くなる）また、入学金、授業料、学生寮費等は一切不要。制服、寝具等は貸与される。

こんな不景気な世の中で、こんなに親孝行で制度の整った就職先はなかなかない。かつ、仕事は危険と隣り合わせであるが海難救助隊などは「人助け・人のためになる」仕事である。応募が倍増するのも納得である。

発行元：MYソリューション合同会社
〒651-1513　兵庫県神戸市北区鹿の子台北町 1-8-1
TEL　078-951-7115　FAX　078-951-7115
URL：http://www.mysolution.jp/
編集長：柳　雅弘　　編集責任者：冨松　誠
通巻No.7　月刊定期・月末発行　定価 200 円

経営士　柳　雅弘　～　一貫性のある戦略を示せ！

外交戦略の観点から領土問題を考察してみました。

まず現状を整理すると、竹島は、日本、韓国、北朝鮮が領有権を主張しており、現在は韓国が占拠し実効支配を行っています。次に尖閣諸島は、日本、中国、台湾の間で領土問題となっており、現在は日本が領土として実効支配しています。そして北方四島、北千島、南樺太は、日本とロシア連邦間で領土問題となっており、いずれもロシアが実効支配しています。

実は、日本が国際司法裁判所へ申し出たとしても、当事国のいずれかが拒否すると審判はされません。また、国家が領有意思を持ち、実効的に占有すると当該地はその国の領土になってしまいます。よって、尖閣諸島以外は日本が不利な状況だといえます。問題を先送りしてきた神経に疑問を感じてなりません。

そもそも日本は、個人や政党の利益を優先する傾向が強いため、外交戦略は都度一貫性が欠如しています。企業で例えると、営業部と製造部と総務部がバラバラのことを思いつきで実行している図が思い浮かびます。内閣、行政、司法という日本の組織構造体が共通の目的を持つには、天変地災や外敵の侵攻に遭わなければ気が付かないのでしょうか？

いや、そうでは有りません。勤勉な国民性、和を以って尊しとするなど、日本が培ってきたノウハウには特殊性があります。他国には真似ることが出来ないものであり、困窮する時代でこそ活かせるはずです。

他国へハッキリと発言するスキルの向上は課題ですが、何よりも国が一体となって、一貫性のある外交戦略のバトンをつないで欲しいものです。

色のいろは

"深く愛する"

皆さん。2012 年秋冬のカラーテーマをご存知ですか？アドーリング！深く愛する、愛情をもって崇めるです。震災後の不安に沈んだこの世の中、力強く、人間らしく、情熱的に生きてほしいという意味で選定されています。この愛を、更に 4 つの意味に分けて選定した色をご紹介します。①Treasure（宝物）大人のフェミニンな魅力を表現する華やかなダークカラーで、ベルベットやファーなどの素材を使って、エレガントな表情を演出する。②Soft Fantasy（魅惑的な幻想）繊細な淡いグレーにブラックをじんわり効かせた、どこか怪しく不思議な雰囲気。③Tomboy（男の子）トムボーイ（おてんば娘）色のエネルギーを感じる強くて鮮やかなビビッドカラーとブラックを掛け合わせた色。強いコントラスト感に目を奪われます。はっとするような驚きを与えます。④Morning Mist（朝霧）光を代表するイエローとミントグリーンをアクセントにしたもので、物質感のない軽いタッチカラーが新しい魅力を与えてくれます。あなたは、今季、どの愛を伝えますか？

（オフィスマルカラー社　葉月涼子）

ニュースレター作成代行　先行予約受付中！
企業様をターゲットとしたアプローチのツールとして活用しませんか？
単月価格 8，400 円から　詳細は弊社ホームページをご覧ください。
MYソリューション合同会社

より美しくあれ！

「健康的なダイエット」

ダイエット市場は非常に大きく、ダイエットの種類は約2万種類あるのではと言われているくらいです。食事制限を加えたものやエクササイズで運動量を増やすものなど沢山あります。

肥満とは体の構成する成分で体脂肪が正常より多いことを言います。脂肪量を減らして筋肉量を維持出来たら嬉しいですよね。しかし体重を落とし、且つ健康的に体型を維持している人は少ないです。なぜなら極端な食事制限で不健康になり、さらに運動で充分なカロリーを消費出来ていないからです。実は運動で体脂肪を減らすには相当な運動量が必要なのです。

空腹に耐えるダイエットは長続きしませんし、無理なダイエットは体の負担になります。どんなに痩せたくとも最大1か月2ｋｇのスローペースが理想的です。このように生体メカニズムを踏まえなければ痩せても不健康になり、リバウンドを繰り返します。短期間で体重を減らすことを目標とせず、健康的で若々しい体を目指しましょう。

（美容コーディネーター　南條祐美）

ライダーのつぶやき

「バイクと免許」

バイク免許ついて、4段階ある中で原付と小型二輪についてお話します。

原付は、５０ｃｃ迄の排気量で自動車免許を取得すればオマケでついてくる免許です。通称、原動機付き自転車というだけあって、二輪車とは違う道交法で扱われます。例えば、「法定速度３０ｋｍ/ｈ」「二段階右折」等ですが、特定の道路事情によっては安全面に疑問を思う事があります。

小型二輪は、ときどき街で見かけるピンクのナンバーが付いたバイクです。こちらは技術を習得して免許を取りに行かねばなりません。基本的には、自動車と同じ道交法となるので、自動車の流れにのって走行する事ができ、比較的に安全だと思います。

現代は渋滞が多く、車両が行き交う日本の道路事情では、小型二輪がもっと活躍できるでしょう。更なる免許制度やインフラ等の環境改善が望まれます。

（あっぷわー！どもばいる　河本茂明）